

 <p>ボーイスカウト尾張東地区広報誌</p>	<h2>各団の活動報告</h2>		<p>2023年5月発行</p> <p>日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区 組織拡充委員会 広報部会 編集・発行</p>
--	------------------	--	--

◇ 「料理対決」

春日井第2団
カブ隊 桑原碧一

隊集会で行った料理対決で、出来たことが二つあります。

1 つ目は、「工夫」です。料理を作っている時、材料が多いことに気が付き、「どのように材料を捨てないように減らそう？」と悩み、そこで他の料理 に入れたりして減らしました。

2 つ目は、「協力」です。一人一人が役割を持ち常に協力をしている形を保てる ように頑張りました。

自分たちで作った料理のいいところを言えてよかったです。

そして、みんな で考えその意見をまとめて「工夫」することと、力を合わせて「協力」することの大切さが分かりました。



◇ 「料理対決」

春日井第2団
カブ隊 秋山晃志

2月19日(日)にカブ隊の活動で料理対決をしました。組ごとに世界の国をテーマにしたメニューを考えました。ぼくの組はイタリアで、ピザとパンナコッタを作りました。

ピザは 4 種類で色々な味が楽しめるように工夫しました。トッピングするのが楽しか

ったです。

ピザは 4 種類で色々な味が楽しめるように工夫しました。トッピングするのが楽しかったです。

パンナコッタは固まってくれるのか心配だったけど、外の寒さで自然に固まりました。どれもおいしく出来てみんなも喜んでくれたので、うれしかったです。またみんなで料理をしたいです。



◇ 「料理対決」

春日井第2団
カブ隊 水谷優希

2月19日に犬山野外活動センターで隊集会がありました。「世界の国々の料理を楽しもう！」ということで、組ごとに料理を作りました。

ぼくの組は、ピザとパンナコッタを作りました。他の組は、ギョーザやチャーハン、クレープを作っていました。どの組も上手に作っていましたが、自分の組の料理が1番美味しかったです。



◇ 「菊章取得にあたって」

春日井第2団
ボーイ隊 川本暁久

今、こうして菊賞を取得させていただき、一番感じていることは「感謝」です。

菊賞を取るにあたり、僕は自分がどれだけ多くの人に支えられているのかを知ることができました。それは家族や指導者の方々、仲間などの身近な存在にとどまらず、様々な方々が様々なところでつながり合って協力することで、僕たちが生活できているということを感じました。

本当に多くの方の支えで取得させていただくことができた菊賞。次に僕がすべきことは恩返しだと思います。今まで支えてくださった方々に、感謝をするだけでなく、それを行動で示していきます。

そして、直接関わっていない方々にも、進んで善い行いをし、社会に奉仕していきたいと思えます。これからも積極的に活動に参加し、後輩の指導や自分自身の技能の上達、そして何よりも、自分自身が楽しんで活動していきます。これまで支えてくださった方々、本当にありがとうございました。



◇ 「菊章を取得した今」

春日井第2団
ボーイ隊 馬淵 広誠

菊は、「スカウトの模範となる」ということで、菊章を取得した今、私はスカウトの模範として活動をしていけるか、不安で仕方ありません。

菊章になった私の役目は2つあると思います。1つは、自分のBS隊を引っ張っていくことです。そしてもう一つは、自分が先輩スカウトの方々に助けてもらい、章を取得したように、次は、私が後輩スカウトを支え、次の菊スカウトを育てていくことだと思います。

今年、私には受験が控えており、フルで活動に参加することは出来ないと思いますが、出来る限り活動を支えていきたいです。

そして“菊章になった”で終わりではなく、そこを通過点として、さらに自分を高めていけたらな、と思います。

まだまだ私にはほど遠いものですが、「冒険と奉仕」の隼スカウトに向けて、少しずつ頑張っていきたいです。

また、菊章の取得に向けて養った力を、ボーイスカウト以外の場面、学校などでも生かしていきたいと思えます。



◇ 「大学広報誌に載って」

春日井第2団
ローバー隊 高井紗璃

この度、私が通っている中部大学の広報誌である「Chubuly Style3月号」に掲載していただきました。

この記事では富士スカウト章を取得するに当たってどのようなことに取り組んできたのか、富士スカウト章を取得してからの活動、大学での生活、今後の目標などについての取材の話が記載されています。

この取材をきっかけにこれまでの活動を振り返ることができ、初心に帰ることができました。今後も初心を忘れずに日々精進していきます。ボーイスカウト活動により一層力を入れ、自らの成長だけでなく後輩の成長にも貢献できるようになりたいです。

また、ボーイスカウト活動で培った経験を生かし、幼い頃からの夢である保育士になるために、学業にも励んでいきます。



る姿や保護者と指導者が交流する場面が多々見受けられ、有意義な活動になったのではないと思われる。

次年度も引き続きこの春2フェスを企画し、全体の発展に貢献していくことで、スカウトの最終部門としての姿を見せ続けていきたい。また、この活動はローバーとしての自己研鑽にも繋がっていくため、継続して行う事ができるよう努めていきたいと思っている。



◇ 「春2フェスを終えて」

春日井第2団
RS隊 吉川 満

令和4年12月に団行事である”春2フェス”を行った。この春2フェスはローバーの企画が発端となり実行委員会を立ち上げ、団全体の交流の促進に加えスカウトの最終部門であるローバースカウトをアピールすることを目的として掲げていた。そのため、この春2フェスは定例化を目指しており、今回は2度目の実施となった。

12月ということもありクリスマス为主题にして行った。この春2フェスの参画にあたり、私は実行委員長を務めさせていただいた。今回初めての実行委員会への参画となったため、実行委員長として中々上手くいかないことも多かったが、スカウトが楽しんでい

◇カブ隊 一年の活動で楽しかったこと
江南第1団 カブ隊長 中村 祥
カブスカウトが『一年間の活動で楽しかったこと』をテーマに作文を書きました。

日菜子

わたしが一年間で一番楽しかった事は、「クリスマスケーキ」を作った事です。

とくに楽しかったのは、フルーツやサンタさんなどでかざりつけをした事です。

クリスマスのように、きれいにかざりつけできたので、うれしかったです。

その後も、おいしく食べれたのでよかったです。

大すきなみかんもあったのでよかったです。



唯莉

カブ隊を1年間やって、楽しかったことはクリスマス会をしたことです。ビーバーは、ホットケーキを作っていました。カブ隊は、クリスマスケーキを作りました。クリスマスケーキに色々なトッピングをしました。生クリーム、生クリームのいちご味、バナナや、クッキー、チョコなどたくさんかざりつけをしました。きじは、たまごから作りました。

きじを食べたら美味しかったです。ちょっとこげてしまったけれど、美味しかったので、

よかったです。はじめて作ったのに、あんなに上手に作れてとてもよかったです。また、ケーキを作りたいです。



陽南

わたしがこのいちねんでうれしかったことは、スキーとスケートをすべれるようになったことです。スケートは、ころぶととてもいたかったけれど、すべれるようになりました。スキーは、さゆうにすべるのは、むずかしかったけれど、すべれるようになりました。



芽久

ボーイスカウトで楽しかったことは、スキー合宿です。

わたしは、かぶたいにはいって初めてのとおまりだったので、とってもドキドキしていました。

スキー合宿の中でも楽しかったのは、ひな子とたい長とわたしでリフトにのって高いところからすべったことです。あまりスピードをだしすぎると止まれないので、ゆっくりゆっくりおりてきました。

とちゅう、スピードをだしすぎてころんでしまいました。だからたい長にこつをおしえてもらったのでうまくすべれるようになりました。

あと、みんなでばんごはんを食べたり、ベンチャーたいがいるテントに行ったりしたときも楽しかったです。

またいきたいなーと思いました。